



平成24年度公立大学法人福島県立医科大学看護学部 公開講座委員会報告(学術活動)

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 福島県立医科大学看護学部 公開日: 2013-06-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 小平, 廣子 メールアドレス: 所属:
URL	https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2000547

学 術 活 動

公開講座委員会

平成24年度公立大学法人福島県立医科大学看護学部公開講座委員会報告

看護学部公開講座委員会委員長 小平 廣子

平成24年度の公開講座は、「高齢者とアロマセラピー」というテーマで、10月13日(土)に郡山市日和田町の福島県農業総合センター大会議室にて開催しました。

本学部の療養支援看護学部門准教授であり、老年看護学の分野を専門とする坂本祐子氏に講義をしていただきました。

今年度の公開講座の特徴としては、講座の対象者を看護職の他に介護職者の方も加え、県内の医療機関(病院、クリニック等)、訪問看護ステーション、市町村、保健医療福祉施設等761カ所に案内を差し上げました。県内各地から88名の参加希望があり、83名の方に参加をしていただきました。

講演は、アロマセラピーの概念、精油の作用経路や種類、薬理作用、適応や禁忌、精油に関する法律、用いる際の注意事項など基本的な知識をはじめ、実際に精油を嚥下障害や誤嚥性肺炎の予防に用いた場合の効果等について、坂本氏自身が行った研究成果等も示しながら、今後の活用の広がりや課題などを指摘していただきました。2時間という長時間でしたが、大変わかりやすく話をしていただき、参加者はメモを取りながら熱心に聞き入っていました。講演終了後も会場からはさまざまな質問が相次ぎ、アロマセラピーに対する参加者の興味・関心の高さが伺えました。

アンケートには81名(97.6%)の方が回答してくださいました。アンケート結果では、20歳代が12%、30歳代が35%、40歳代が25%、50歳代26%、60歳以上が2%でした。

性別では、参加者の94%が女性でした。

職種別割合では、看護職が51%と半数を超え、介護職は33%、その他・無回答が16%でした。

参加者の勤務先は総合病院が21%、専門病院が7%、クリニックが2%で医療機関からの参加者が約3割でした。また、訪問看護ステーションが7%、老健施設が20%、他の介護保険施設等が6%でした。その他・無回答が3割で、その中にはアロマセラピーの専門家も含まれていました。

参加者の居住地は、県北と県中で6割、県南・会津・いわきがそれぞれ1割でした。

参加のきっかけとしては、「職場の人から勧められて」が69%と非常に高く、アロマセラピーを職場に活用したいという意志が感じられました。また、「チラシを見て」という人が21%おり、多方面に案内を差し上げたことが参加者の増加につながったと思われます。

講演の満足度では、約半数の人が「期待どおり」あるいは「期待以上」と答えており、会津や白河でも開催してほしい、「同じテーマで今後に期待したい」という意見も記載されており、講評のうちに終了することができました。

今後、公開講座にとりあげてほしい内容としては、「急性期の看護」、「フィジカルアセスメント」、「家族看護」、「補完・代替療法」、「発達障害者との関わり方」、「心理教育」、「音楽療法」、「看取りの看護」、「リハビリややさしいエクササイズによるADL効果」、「転倒予防」など多岐の分野にわたり要望が出されていました。また、年に1回でなく、複数回開催してほしいという意見もいただきました。

次年度に向けて運営面では、①2時間休みなく講義をしていただいたので、途中で休憩をいれる、②資料を見やすく作成する、③秋期に開催する場合は、遠方から参加する人のことも考慮して、開始時間を1時間ほど早くする、などが改善点として挙げられました。